令和８年度是川縄文館考古学講座（後期）

考古学から考える自然災害

考古学では、遺跡にのこる痕跡から過去の災害を調査し、未来の災害の予測などに役立てる「災害考古学」という分野があります。本講座では、遺跡の調査から見えてきた過去の災害の実態や、災害から文化財を守り、継承していくための取組について学びます。

第１回
12/12㊏

講師：藤澤　敦 氏
（東北大学総合学術博物館　特任教授）

被災した文化財を守り伝える取り組み

第２回
1/16㊏

講師：杉山　秀宏 氏
（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団　普及課長）

**群馬県渋川市金井遺跡群の
榛名山噴火に伴う古墳時代火山災害と復興**

第３回
2/13㊏

講師：丸山　浩治 氏
（岩手県立博物館　主任専門学芸員）

遺跡から考える十和田平安噴火災害

会場：是川縄文館１階　体験交流室

時間：**13時～14時30分**　聴講無料・要申込（定員100名）

※**今年度から開始時間が13時となりました。**お間違えのないようにお願いいたします。
※定員に達し次第、受付を終了しますので、お早目にお申込みください。

お申込み・お問合せは
八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館
〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山１
https://www.korekawa.jomon.jp/
TEL：0178-38-9511

縄文 JOMON JAPAN



参加まってるるん♪